



# 葛城修験

日本遺産

—里人とともに守り伝える修験道はじまりの地

「祈り」を見つめる  
再発見の旅

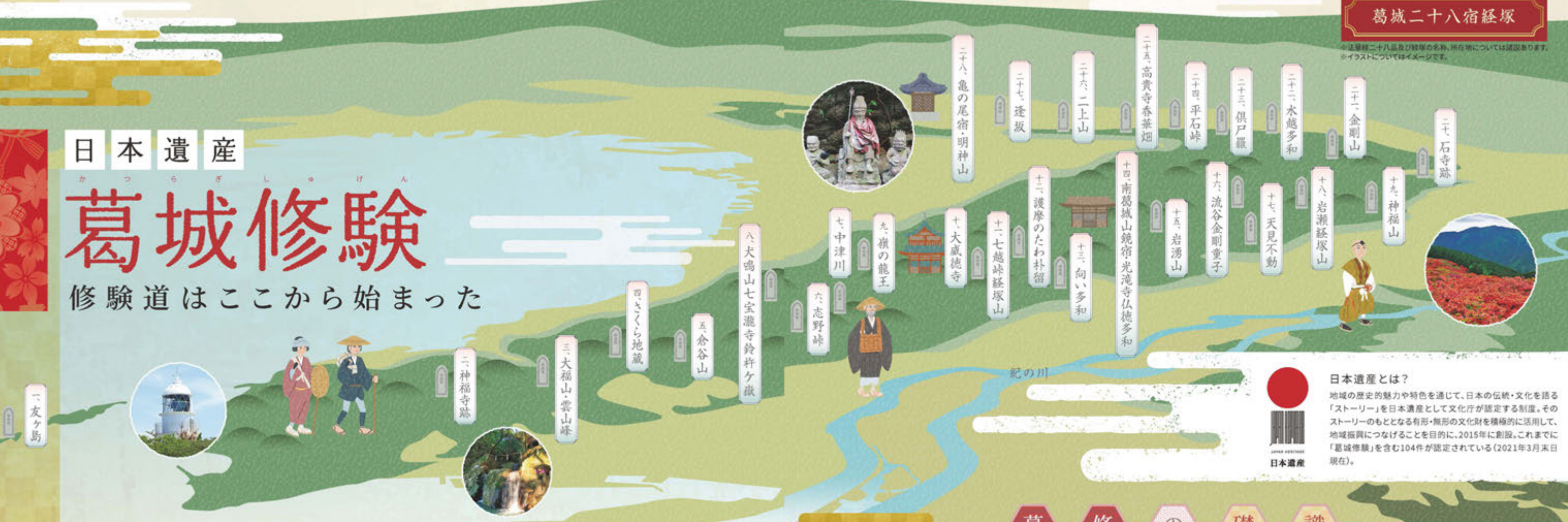


※法華経二十八品及び経塚の名称、所在地については諸説あります。イラストについてはイメージです。

日本遺産

# 葛城修験

## 修験道はここから始まった



**日本遺産とは？**  
 地域の歴史の魅力や特色を通じて、日本の伝統・文化を語る「ストーリー」を日本遺産として文化庁が認定する制度。そのストーリーのもととなる有形・無形の文化財を積極的に活用して、地域振興につなげることを目的に、2015年に創設。これまでに「葛城修験」を含む104件が認定されている(2021年3月末日現在)。

### 葛城修験の基礎知識

和歌山、大阪、奈良の3府県にまたがって連なる「葛城」の峰々は、修験道の開祖と言われる役行者が初めて修行を積んだ地であり、まさに、修験道の歴史が始まった修験道誕生の地である。葛城修験の総延長112kmにも及ぶ峰々一帯は、古くから多くの神々が住まう場所として人々に崇められてきた場所であり、この地で修行を積んだ役行者が、法華経を1品ずつ埋納した28の経塚を残した場所でもある。この経塚を中心に役行者と縁のある寺社や滝、巨石などの行場を巡って行う修行を「葛城修験」といい、葛城修験を構成する文化財もこの地に点在している。2020年6月、日本遺産に登録された葛城修験は、今も多くの修験者たちにとって重要な行場であるのと同時に、修験者だけではなく広く一般の人々にとっても、その歴史や魅力に触れることができる存在として大きな注目を集めている。

#### 役行者

修験道の開祖といわれる役行者は本名を役小角といい、7~8世紀にかけて実在した人物とされている。役行者にまつわる数多くの伝説の中には、不思議な力を駆使して、空や野山を駆け巡り、鬼神を自在に操ったといった逸話も残されている。役行者が葛城修験を開いた後に移った修行の地が「大峰山」であり、修験者にとって葛城修験とともに重要な行場とされている。



役行者像 提供「本山修験宗総本山聖護院」

#### 装束について

修験者の装束は険しい山へ入って行くために、便利で動きやすい現代の登山服のような機能に加えて、仏の教えをさまざまな形で象徴するものになっている。装束を法衣、道具を法具と呼び、主なものとしては頭につける直径8cmほどの頭巾である頭襟、白衣の上から着る鈴懸、首から下げる結袈裟、手で持つ錫杖や合図などに使う法螺などがある。



七宝庵寺の修験者の装束

#### 経塚と行場

役行者は葛城の峰を仏法の世界に見立てて、法華経八巻二十八品を、それぞれ経筒に入れて埋納した。この二十八品の埋納場所が経塚と呼ばれる葛城修験の中心となる聖地であり、これらの経塚を巡ることが葛城修験の中核を成している。葛城修験には28の経塚も含め役行者ゆかりの修行の地、つまり行場が点在しており、重要な行場については江戸時代に著された「名所図会」の中で知ることができる。



20番経塚の石守跡 関不精曹備品

#### 葛嶺雑記

幕末の嘉永3年(1850)に刊行された『葛嶺雑記』には、28の経塚やその拝所などが詳細に記されており、現代人が葛城修験を知る上でも大きな役割を果たしている。葛城修験は、明治時代初期の修験宗廃止令等により衰退し、修行を行った行場は自然に還り、そこに至る道も一度は廃れたが、戦後、再興しようとする動きが生まれ、『葛嶺雑記』等の書物を参考に、実地調査等を行い、経塚などの所在地を確定させた。現代のガイドブックのようなこの書物の存在が修験者にとっての道標となっている。



七宝庵寺所蔵の「葛嶺雑記」

#### ストーリーのポイント

1

#### 海からはじまる修行の道

最初の経塚である「友ヶ島序品」は、山岳修行を行う修験道としては珍しく、和歌山市の加太沖に浮かぶ友ヶ島4島の一つ虎島にあり、普段観光客が訪れる沖ノ島から干潮時にだけ現れる岩場を歩いて渡る。友ヶ島にはじまる修験道は和歌山市加太へと続く。



1番経塚のある友ヶ島の虎島

2

#### 地域とつながる修行の道

葛城修験の地に連なる山々はさほど高くないことから、他の修験の地に比べて集落との関わりが強く、地域信仰とも深く関わってきたといわれる。修験の道周辺の集落には修験者たちを宿泊させるなどの役割を果たした「迎之坊」などがあり、修行の休息地として利用された大阪府泉佐野市の奥家などにも関連資料が残っている。



修行の休息地として利用された奥家住宅

3

#### 葛城修験のこれから

葛城修験では今も多くの修験者たちが修行を行う。修験道は道なき道をかき分け、崖をよじのぼり、沢を伝うなど過酷なものだが、一方で、行場のすぐ近くまで車の乗り入れができるなど、近年ではアクセスがよくなっているのも事実。葛城修験を知るために、まずは、美しい自然や文化、歴史と触れ合うことができる葛城の地を気軽に訪れてみることから始めてみたい。



行場への道とリンクするダイヤモンドトレール

離島が葛城修験の出発点

紀伊水道に浮かぶ



友ヶ島(虎島)

和歌山市の加太港から船で約20分の友ヶ島は葛城修験第一番経塚がある場所、地ノ島、虎島、神島、沖ノ島の4つの島からなる。第一番経塚の「友ヶ島序品」がある虎島へは沖ノ島の東端から干潮時に渡ることができる。  
※2021年3月現在、通行止めのため虎島へ渡ることは不可。

☎073-435-1234(和歌山市観光課)  
和歌山県和歌山市加太  
加太港から船で約20分  
料:各々様自由(料)なし

序品窟

二十八宿第一の霊場とされている。奥行約10m、幅約50cmの岩盤の割れ目に「妙法蓮華経序品第一」の経塚が祀られ、「紀伊国名所図会」などには「胎内潜」とも称したと伝えられ、今も各地から修験者が訪れている。

☎073-435-1234(和歌山市観光課) 和歌山県和歌山市加太 加太港から船で約20分の船着場から徒歩約1時間(料)なし

加太春日神社

慶長元年(1596年)に羽柴秀長の家臣・桑山重晴によって現在の場所に移転し、社殿が造営された。友ヶ島を行場とした役行者が勧請し守護神としていたとも伝わる。葛殿や欄間などの彫刻は桃山時代の特徴を持ち、棟札14枚とともに重要文化財に指定。



☎073-459-0968 和歌山県和歌山市加太1343  
交:南海電鉄加太線加太駅から徒歩10分(料)9時30分~16時30分(料)5台

大福山 譬喩品

大福山は、二十八宿第三(譬喩品)の霊場とされている。麓には葛城修験と関係の深い「墓の谷行者堂」や「直川観音」として親しまれている大福山本恵寺、「鳴滝不動」として有名な鳴滝山園明寺などが点在する。



☎073-435-1234(和歌山市観光課) 和歌山県和歌山市富川 和歌山県和歌山市富川 JR阪和線六十谷駅から登山道入口まで徒歩約50分、登山道入口から大福山山頂まで約2時間(料)なし

阿字ヶ峰行者堂

友ヶ島を行場として開いた役行者を祀るお堂。後醍醐天皇の皇子で、聖護院門跡兼熊野三山校校であった道見法親王が葛城修験の際に建立したとも伝わる。加太の街並みと友ヶ島が浮かぶ海を一望できる。



☎073-435-1234(和歌山市観光課) 和歌山県和歌山市加太242 交:南海電鉄加太線加太駅から徒歩15分(料)なし

さくら地蔵 信解品

葛城修験第四番経塚。阪南市山中溪に文安5年(1448)銘の石碑が建つ。かつて桜の老木が近くにあったことからさくら地蔵とも呼ばれる。JR山中溪駅南側にある永禄12年(1569)銘の六十六部供養碑を当経塚とする説もある。



☎072-471-5678(阪南市役所) 和歌山県阪南市山中溪 交:阪和自動車道阪南ICから車で10分(料)なし

高仙寺(孝子観音)

「孝子」の名は、飛鳥時代、役行者が「妖術を使い民を惑わす者」として役人に追われた際、人質に取られた母を思って自ら捕らえられた孝心に由来するとされる。境内には、「役行者の母公の墓」とされる石積も残る。



☎072-492-2730(堺町産業観光交流課) 和歌山県高野郡高野町孝子1464 交:南海電鉄本線孝子駅から徒歩15分(料)なし

根来寺

真言宗中興の祖といわれる興教大師・覚鑿上人が開山した新義真言宗の総本山。葛城巡礼第34番の宿に定められた豊福寺を源泉とすることから、葛城修験とゆかりの深い寺である。



☎0736-62-1144 和歌山県岩出市根来2286  
交:京奈和自動車道岩出・根来ICから車で5分  
料:大人500円 料:4~10月は9時10分~16時30分、11~3月は~16時(料)約80台

七宝瀧寺・修行体験

七宝瀧寺では、修験道修行の同列を希望する人のために一日修行体験を実施。修験者の先達の指導のもと、犬鳴山の行場、拝所を回峰した後、行者の滝での滝修行を行う。10日前までに要予約、定員に達次第締め切り。

☎072-459-7101 和歌山県佐野市大木8 交:阪和自動車道之上郷ICから車で20分 料:3000円(修行用衣の貸出含む) 修:第3日曜のみ実施(変更あり)詳細はHPで要確認(料)50台



七宝瀧寺・修験会館

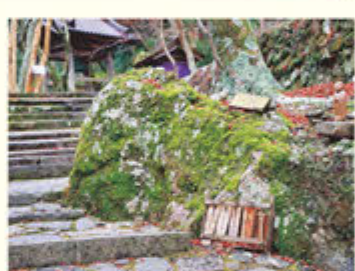
七宝瀧寺で所有する修験道に関する秘宝、資料等を所蔵。3階の資料館では、修験道に関するものはもちろん、犬鳴山の伝説を伝える仏像・法具・書なども展示。日本で初めての修験道曼荼羅も見ることが出来る。



☎072-459-7101 和歌山県佐野市大木8 交:阪和自動車道之上郷ICから車で20分 料:入館無料 修:7時30分~16時30分 休:休(料)50台

大威徳寺 法師品

葛城修験第十番経塚。役行者の開創と伝えられる牛瀧山大威徳寺の境内に、梵字が刻まれた大きな自然石があり、『葛城雑記』には「惣門の中に経石あり。妙法師品第十之地」と記されている。



☎072-423-9486(津和野市観光課) 和歌山県津和野市大沢町1178 交:南海本線津和野駅から南海ウイングバス牛瀧山行きで牛瀧山下車徒歩3分(料)なし

堀越頼観音

山間にひっそりと佇む、葛城修験二十八宿の行場の一つ。本堂に祀られる本尊の十一面観世音菩薩は、役行者が母の癩(疼痛を伴う内臓疾患の俗称)病の際に祈願し、一刀三礼のもとに彫刻したと伝わる秘仏。



☎0736-25-0001 和歌山県伊都郡かつらぎ町東谷1360 交:京奈和自動車道紀北かつらぎICから車で20分(料)20台

槇尾山 施福寺

欽明天皇勅願によって開かれた名刹。空海が仏門に入る際に剃髪したと伝わる髪堂のほか空海の捨身説話が伝わり、修験者の行場でもあった。花山法皇足守の馬頭観音や座高4mを超える方違大観音なども見どころの一つ。



☎0725-92-2332 和歌山県和歌山市槇尾山町136 交:阪和自動車道津和野和泉ICから車で20分 料:本堂500円 修:8~17時(12~2月は~16時)(料)100台

涌出山 岩湧寺

葛城修験の行場として知られる岩湧山(標高897m)北側の中腹に位置し、大宝年間(701-704)に、文武天皇の勅願により役行者が開いたとされる。山号は、法華経の「涌出品」と寺の周辺が岩の湧き出るような風景であることに由来する。



☎0721-62-4000 和歌山県河内長野市加賀田3824 交:阪和自動車道津和野和泉ICから車で60分(料)70台(岩湧寺より1.5km手前から分散して6カ所あり)

歴史の重みを感じる風格を残す 葛城修験の中心地をなす行場



中津川行者堂

「中台」と呼ばれ、修行を行う聖護院門跡が山伏の位階を受ける重要な儀式「葛城瀧頂」が行われる、葛城修験の中心地をなす行場。現在も、毎春の護摩供や修験者のもとをなすなどを住民が話し合う「行者講」も開かれている。

☎0735-77-0942(紀の川市観光振興課) 和歌山県紀の川市中津川 交:京奈和自動車道紀の川ICから車で15分(料)なし

中津川行者堂での護摩供

毎年4月、聖護院門跡によって行われる探燈護摩供は、中津川行者堂に護摩壇を組み、春の峰入り修行成就を祈禱する重要な儀式として受け継がれている。



原始の森・自然に満たされた行場  
今も全国から修行者が訪れる



## 犬鳴山 (七宝瀧寺)

天明7年(1817)、役行者が開基した葛城修験の中心的行場であり、葛城二十八宿の第八宿。「犬鳴」の号は、山中で大蛇に襲われた頭師を、身を挺して守った愛犬に、宇多天皇が賞賛を与えたことに由来する。女人大峯とも呼ばれ、女性も修行できる行場として知られており、山内の主要な行場、岩、堂、洞などを巡ることができる。

☎072-459-7101 阪大府泉佐野市大木8  
交旅和自動車道之上郷から車で20分  
徒歩30分～16時30分 ⑤50台

## 行者の滝を含む7つの滝

七宝瀧寺の山内にある四十八滝のうち、寺号の所以ともなった代表的な7つの滝(両界の滝・塔の滝・井天の滝・布引の滝・固津喜の滝・行者の滝・千手の滝)は、淳和天皇が干ばつに際して雨乞祈願成就の霊験を称え、金銀などの七宝にちなみ命名した名瀑。

☎072-459-7101 阪大府泉佐野市大木8 交旅和自動車道之上郷から車で20分 徒歩30分～16時30分 ⑤50台

## 小峯寺

役行者の開基といわれ、鎌倉時代初期の「諸山縁起」に修験道の行場として記録される古刹。境内には行者堂のほか、役行者の母の墓と伝わる十三重塔が残されており、毎年3月には、柴燈大護摩祈禱がとり行われる。

☎0736-37-0250 和歌山県橋本市小峰台2-1  
交旅和自動車道橋本東から車で5分 ⑤なし



## 吉祥草寺



役行者が開基し、舒明天皇により創建されたと伝わる古寺。役行者の生誕地とされ、この地に吉祥草という草を用いて庵を結んだことが寺名の所以とされる。境内には「役行者産湯の井戸」といわれる古井戸や腰掛石が残る。

☎0745-62-3472 奈良県御所市茅渚279 JR和歌山線玉手駅から徒歩5分 徒歩9～17時 ⑤あり



## 大澤寺

白鳳年間、役行者が修験行場の拠点として草堂を結び業師如来を勧請したのが開基とされる。古文書によると役行者が神福山の第十九経塚のそばに地藏尊を安置して大澤寺の奥の院としたと伝えられている。

☎0747-23-1744 奈良県五條市大沢町581  
交旅和自動車道五條から車で15分 徒歩9～17時 ⑤10台



## 葛城一言主神社

記紀神話に登場し、雄略天皇の葛城山での狩りの最中に現れたとされる大神、一言主神を祀る古社。一言の願いであれば何でも叶える神力を持つとされ、地元では「一言(いちごん)さん」として親しまれている。

☎0745-66-0178 奈良県御所市森脇432 交旅和自動車道御所から車で10分 ⑤50台



## 平石峠 妙音菩薩品

二上山の南、河内と大和の国境を成す岩橋山北嶺、平石峠にある葛城修験第二十四番経塚。峠の手前の山の斜面に、石積をした経塚とともに、役行者と不動明王を刻んだ石仏2体が祀られている。

☎0721-93-2500 (河内町) 津和野・まちづくり推進課 阪大府河内郡河内町平石 近鉄長野線津和野駅から全期バス平石下車、徒歩約30分 ⑤なし



## 當麻寺



當麻寺の創建当時、二上山の東麓は役行者の私領で、領地を寄進してもらって建てられ、役行者が最初に修行した地が當麻といわれている。その名残として金堂の南側には役行者が産つた「影向石」が今も残されている。

☎0745-48-2001 奈良県葛城市當麻1263 近鉄南大阪線當麻寺駅から徒歩15分 ⑤15台



## どんづる峯

二上山の火山活動によって、堆積した火砕流や火山灰などが造り出した奇岩群。遠くから見ると鶴が屯らしているように見えるため、屯鶴峯の名が付いたといわれ、葛城修験の行場ともなっている。

☎0745-44-3312 (香芝市) 西名阪自動車道香芝ICから車で10分 ⑤5台



## 明神山 普賢菩薩勸発品

葛城修験第二十八番経塚。二上山の峰の一角をなす明神山付近に埋納されたと考えられ、鎌倉初期とされる「諸山縁起」によれば、法華経二十八品が終わったことが記されている。

☎0745-33-6668 (王寺町) 観光協会 奈良県北葛城郡王寺町皇田2640 西名阪自動車道香芝ICから駐車場まで約5分、山頂まで徒歩約40分 駐車場9～15時 ⑤35台



## 亀の尾宿 普賢菩薩勸発品

もう一つの第二十八番経塚とされる、大和川の「亀の瀬」にある亀石。急流で磨かれた大きな花崗岩は、江戸時代に刊行された『大和名所図会』の挿絵に「かめ石」として描かれている。

☎072-976-3430 (柏原市) 文化財課 阪大府柏原市時 西名阪自動車道香芝ICから車で15分 ⑤なし



葛城修験根本道場  
金剛山山頂に建つ



## 転法輪寺

天智4年(665)、役行者が一言主大神を鎮守とし、法起大菩薩を勧請したことが起源とされる。修験道七高山の一つに数えられる行場として栄えた古刹。明治の廃仏毀釈で廃寺になったが戦後に再興され、葛城修験の精神を伝えている。本尊・法起大菩薩は、金剛山一帯だけで信仰される稀有な仏としても知られる。金剛山の山頂にあり葛城二十八宿の中でも最高峰に位置する。

☎0721-74-0873 奈良県御所市高天476 金剛山頂 南海河内長野駅から南海バス 金剛山ロープウェイ前行きで30分、終点下車、ロープウェイで6分、山頂駅から徒歩30分 ⑤なし 2021年3月現在、金剛山ロープウェイは運行停止中(再開未定)



## れんげ大祭

開祖である役行者の命日である7月7日に蓮の花を供え、柴燈大護摩、火渡り修行が行われる転法輪寺で最も古くから受け継がれる祭り。



## 多間寺跡

千早赤阪村にあり、かつて山伏が修行した行場・金剛七坊の一つに数えられた、多間寺が建っていたといわれる。跡地に建つお堂には鬼子母神やお地藏さん、阿彌陀如来などが祀られ、今でも修験者たちが立ち寄っている。

☎0721-72-1300 (千早赤阪村) 教育課 阪大府河内郡千早赤阪村千早地区内 南阪自動車道羽曳野ICから車で45分 ⑤なし



## ストーリーの構成文化財一覧表

1	友ヶ島序品	和歌山市	32	日根荘 大木の農村景観	泉佐野市	63	犬鳴山(七宝瀧寺)	泉佐野市
2	神福寺跡 方便品	岬町	33	火走神社	泉佐野市	64	葛城雑記	泉佐野市
3	大福山 響喩品/雲山峰 響喩品	和歌山市	34	奥家住宅	泉佐野市	65	政基公旅引付	泉佐野市
4	さくら地蔵 信解品	阪南市	35	松尾寺	和泉市	66	行者の滝を含む7つの滝	泉佐野市
5	倉谷山 葉草喩品	紀の川市	36	横尾山 施福寺	和泉市	67	葛城踊り	岸和田市
6	志野峠 授記品	紀の川市	37	丹生都比売神社境内	かつらぎ町	68	意賀美神社 雨降りの滝	岸和田市
7	中津川 化城喩品	紀の川市	38	神野阿弥陀堂	かつらぎ町	69	笹踊り	和泉市
8	犬鳴山七宝瀧寺鈴ヶ峯五百弟子受記品	泉佐野市	39	岩湧寺	河内長野市	70	堀越願観音	かつらぎ町
9	嶺の龍王 授学無学人記品	紀の川市	40	草谷寺	五條市	71	葛城蔵王権現社	かつらぎ町
10	大威徳寺 法師品	岸和田市	41	金剛山	御所市	72	天女山正姿寺	かつらぎ町
11	七越峠経塚山 見宝塔品	和泉市	42	當麻寺	葛城市	73	小峯寺	橋本市
12	摩摩のたわわ朴留 堤婆達多品	かつらぎ町	43	當麻寺中之坊	葛城市	74	不動山の巨石	橋本市
13	向い多和 勸持品	かつらぎ町	44	観念窟	和歌山市	75	東覚寺 八大龍王・葛城明神春祭り	橋本市
14	南郡山道宮 安楽行品/光滝寺仏徳多和 安楽行品	岬町/かつらぎ町	45	深蛇池	和歌山市	76	宮ノ講と葛城神社年越し行事	橋本市
15	岩湧山 從地湧出品	河内長野市	46	圓伽井跡	和歌山市	77	行者まいり	橋本市
16	流谷金剛童子 如来寿量品	河内長野市	47	神島剣池	和歌山市	78	光滝寺	河内長野市
17	天見不動 分別功德品	河内長野市	48	加太春日神社 えび祭り	和歌山市	79	光滝寺炭焼不動尊	河内長野市
18	岩瀨経塚山 隨喜功德品	河内長野市	49	紀州加太浦「探燈大護摩供」	和歌山市	80	大澤寺	五條市
19	神福山 法師功德品	五條市	50	阿字ヶ峰行者堂	和歌山市	81	地福寺	五條市
20	石寺跡 常不軽菩薩品	御所市	51	加太淡嶋神社	和歌山市	82	多聞寺跡	千早赤阪村
21	金剛山 如来神力品	御所市	52	常行寺	和歌山市	83	転法輪寺	御所市
22	水越多和 嘆累品	御所市	53	西念寺	和歌山市	84	吉祥草寺	御所市
23	俱尸羅 薬王菩薩本物品	御所市	54	鳴滝山圓明寺(鳴滝不動尊)	和歌山市	85	葛城一言主神社	御所市
24	平石峠 妙音菩薩品	河南町	55	大福山本恵寺(直川観音)	和歌山市	86	當麻寺竹之坊	葛城市
25	高貴寺香草畑 観世音菩薩普門品	河南町	56	巖の谷行者堂	和歌山市	87	高雄寺	葛城市
26	二上山 陀羅尼品	葛城市	57	中山王子跡	和歌山市	88	どんづる峯	香芝市
27	達坂 妙莊嚴王本物品	香芝市	58	慈眼院	岬町	89	穴虫峠の馬頭観音	香芝市
28	鹿の尻宮 普賢菩薩勸発品/明神山 普賢菩薩勸発品	和歌山市/岬町	59	高仙寺	岬町	90	観音寺、三輪神社	香芝市
29	加太春日神社	和歌山市	60	根來寺伽藍古絵図	岩出市	91	関屋地蔵尊	香芝市
30	根來寺	岩出市	61	中津川行者堂	紀の川市			
31	粉河寺	紀の川市	62	熊野神社	紀の川市			

### 28の経塚位置図



地図の中の①～②⑧は、  
上の構成文化財一覧表の28番までの  
経塚の位置を示しています。

#### 関係市町村

和歌山県(和歌山市、橋本市、紀の川市、岩出市、かつらぎ町)  
大阪府(岸和田市、泉佐野市、河内長野市、和泉市、柏原市、阪南市、岬町、河南町、千早赤阪村)  
奈良県(五條市、御所市、香芝市、葛城市、王寺町)

※上の地図の地色の濃い部分が「葛城修験」の関係市町村です  
※法華経二十八品及び経塚の名称、所在地については諸説あります。

葛城修験日本遺産活用推進協議会(和歌山県観光振興課内)

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1

TEL:073-441-2424 FAX:073-432-8313

日本遺産「葛城修験」ホームページ

<https://katsuragisyugen-nihonisan.com>



文化庁

Agency for Cultural Affairs, Government of Japan  
令和2年度文化庁文化資源活用事業補助金